



成功への道

インド北部連綿地のイスラム教徒に届くポリオ撲滅のメッセージ。1ページを参照。

ROTARY WORLD

最新出版物の紹介

「今こそポリオ撲滅のとき」襟ピン (988-MU) : ポリオ撲滅をめざすロータリーの活動への支援を示して、100個セット。\$50

指導力育成: プログラムを始めるための手引き (250-JA) : 指導力を伸ばすための指針や研修のアイデアが紹介されています。無料



「21世紀の平和構築と安全 (仮訳)」 (909、英語のみ) : ロータリー世界平和フェローによる論文を集めた、国際研究のためのロータリー・センター論文集シリーズの一部。ブラッドフォード大学ロータリー・センター所長のトム・ウッドハウス教授監修。\$10

「ロータリー地域社会共同隊要覧」 (770、英語のみ) : 共同隊を組織する基本的な手順。\$3.50

「ロータリーと国際社会: 地元社会と世界を結びつける」 (266-MU) : 地元、地域、世界で、国連や他団体と活動するロータリーを紹介した8分間のDVD。ロータリーを通じて地元と世界を結ぶためのベストプラクティスも収録。\$15

「RVM: ロータリアン・ビデオ・マガジン (第4巻) 年間予約購入」 (RVM0809) : 2枚の割引価格で3枚購入できます。各DVDには、世界各地でプロジェクトを行う人々やロータリー・クラブを紹介するエピソードが3~4話収録されています。クラブや地区の会合で放映するのに最適です。(日本語吹き替え付き) \$30

「2008年ロサンゼルス国際大会写真のCDセット」 (CNVCD3) : 大会前会議から閉会本会議まで、大会の様子を写す写真数枚をお見いただけます。クラブや地区のウェブサイト、ニュースレターに最適。\$20

「2008年ロサンゼルス国際大会講演のDVDセット」 (SPEECHES1) : 本会議の主な講演集。今年から新しく、飢餓緩和、識字率向上、水対策、ロータリー家族に焦点を当てた4分間のビデオが収録されています。NTSCまたはPALフォーマット。\$25

「世界社会奉仕要覧: 行動への指針」 (742-JA) : 海外奉仕プロジェクトを推進したり、支援するための総合的な案内書。\$3.50

「2008-09年度青少年交換証書」 (747-JA-08) : 青少年交換の終了後に交換学生に贈呈するための証書。地区が空欄部分に名称を記入するようになっており、地区青少年交換委員長の署名が必要です。10枚1組。証書のサイズは21.5 x 28 cm。\$7

ご注文はshop.rotary.org、Eメール (shop.rotary@rotary.org)、または日本事務局資料室まで。電話 (1-847-866-4600) もしくはファックス (1-847-866-3276) でもご注文いただけます。お支払い確認後にご注文の品が発送されます。

ロータリー世界各地から

ニカラグアにミシンを贈る 2007年に、サンファン・デル・リオ・ココの山村にある裁縫師の協同組合に、6台のミシンとともに布が、米国カリフォルニア州のランチョ・ベルナルド・サンライズ・ロータリー・クラブ (サンディエゴ) から贈られました。この協同組合は、衣類の製造と販売経験者の女性40人以上に、ペダル式のミシンを使って裁縫のレッスンを無料で提供しました。村の妊婦専用のシェルター、カサ・マテルナ



では、1台のミシンを使って、布製おむつと毛布の縫い方を女性たちに教えています。ロータリアンのナスリン・パービーさんは、サンディエゴのクラブを先導して、同シェルターに寄贈するミシンと補給品の購入に必要とされる2,500米ドルの募金活動を行いました。

イタリアでバン購入を助ける キアヴァリ・ティグッリオ・ロータリー・クラブは2月に、100人を収容するローマカトリック医療センターのセントロ・ベネデット・アクアローネに、車椅子対応のバンを寄贈しました。同クラブと第1780地区 (フランス)、ならびにロータリー財団から提供された資金を使って購入した47,000米ドルのバンには、車椅子に乗った2人を含める7人が乗車できます。過去10年間に同クラブは、車椅子対応のバン2台を購入するための資金を非営利団体に提供しています。

トルコに図書館を トルコ国内に図書館を設立するために活動していたトルコのロータリアンの努力によって、40の村に3万冊以上の本が寄贈されました。第2440地区とその他複数のロータリー・クラブの支援の下、ブルサ・トプハネ・ロータリー・クラブは、図書館が不足している地域に、6万米ドル相当の本と本棚を提供しました。ほかの団体とも協力し、多くの家庭や政府関連施設から本を集めている同クラブの目標は、2008年末までに150の図書館を建設することです。同クラブはまた、アルゼンチンのブエノスアイレスにあるラモス・メヒア・スル・ロータリー・クラブの多言語図書館プロジェクトのために、400冊のトルコ語の本とCDを寄贈しました。

RVM

THE ROTARIAN VIDEO MAGAZINE

例会でRVMを放映し、世界中の人々に希望をもたらすロータリーの活動を紹介します

年間予約購入はお早めにshop.rotary.orgから。3枚組30ドルで、15ドルの割引



Vol. 3 (RVM0708)

Vol. 4 (RVM0809) 新発売



特集記事

地区ガバナーと5,000人のロータリアンがロータリーへの認識を高める **5**



子供の死亡率の最大の原因、マラリアを予防するロータリー・プロジェクト **6**



ボランティア活動から始まった遺産寄付 **7**



未来の夢計画を採択

6月のRI理事会で採択されたロータリー財団の未来の夢計画についてご紹介します。国際ロータリーは、地区に3年間の試験的プログラムへの参加を呼びかけています。

2ページを参照。



Alyce Henson/Rotary Images

ポリオ撲滅のメッセージは、2月と3月にインド、ウッタルプラデシュ州のイスラム教の寺院で150万人以上の人々に届けられました。この活動に取り組んだのは、全国ポリオ監視プロジェクトの代表者、社会動員ネットワークの現地スタッフ、ロータリアンのほか、子供に予防接種をするよう家族に訴えかけた人々です。

予防接種の提唱でインドのポリオ撲滅活動が実を結ぶ

インド北部のウッタルプラデシュ州ではポリオとの闘いが大きな成果をみせています。このまま前進し続けることができれば、「世界的なポリオウイルスのメッカ」の汚名を返上できる日もそう遠くはないでしょう。

2007年にインドで発生したポリオ症例864件のうちの40パーセント近くが、インドで最も人口の多いウッタルプラデシュ州で発生しています。これは、世界の全症例の4分の1に相当するものです。

また、その年に同州で発生した339件の症例のうち、イスラム教徒の居住地域での発生率は80パーセントを占めていましたが、ロータリーの主導する活動によって、2008年4月中旬には、発生件数を全48件中の16パーセントまでに抑えることができました。

州内でポリオ撲滅活動を監督しているのは、2007年に国際ロータリーが設立したポリオ撲滅のためのウラマー委員会です（ウラマーは、イスラム法の専門家であるイスラム教における指導者の存在）。同委員会は、ポリオの予防接種を、コーランで説かれている親の義務として訴える冊子をイスラム教聖職者や各宗派代表者に配りました。この冊子は、インドのポリオ・プラス委員会が発行したものです。

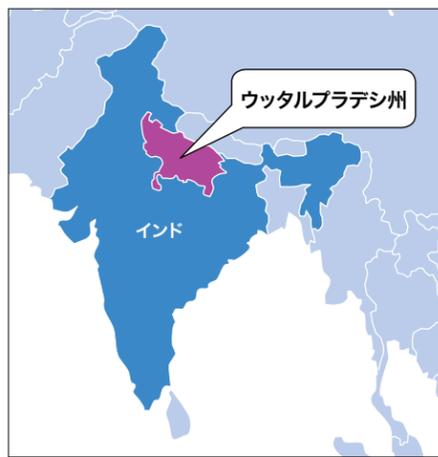
さらに同委員会のメンバーは、ポリオの症例が特に集中しているウッタルプラデシュ州の各地区を訪れ、ポリオ予防接種が安全で、イスラム教の教えに反するものではないことを親たちに説いて回りました。

「抵抗する理由の背景を理解しようと、ロータリーも私たちといっしょにスラム街を回ってくれました」と話すのは、ウッタルプラデシュ州で保健大臣を務めるニタ・チョウドリー氏です。同氏は、ロータリアンが地域での推進活動を計画するにあたって、ほかの非政府組織とも協力した事実にも触れました。「ロータリーがこの仕事を成し得るのは、ロータリアンの行動力が人々の信頼を呼ぶからです」

インドで増え続けるロータリー財団への寄付について6ページをご覧ください。

「ロータリーがこの仕事を成し得るのは、ロータリアンの行動力が人々の信頼を呼ぶからです」

ニタ・チョウドリー



2010-11年度RI会長にクリンギンスミス氏を指名

米国（ミズーリ州）、カークスビル・ロータリー・クラブに所属するレイ・クリンギンスミス氏が、2010-11年度RI会長指名委員会により選出されました。対抗候補者がいない場合は、10月1日をもってクリンギンスミス氏が会長ノミネートとなります。

クリンギンスミス氏はミズーリ大学で経営学および法律の学位を取得した後、ロータリー財団国際親善奨学生として、南アフリカのケープタウン大学へ留学し、大学院生としての研究を終えました。1973年より、カークスビルにあるノースイースト・ミズーリ州立大学（現在はトルーマン州立大学と改称）で総合弁護士と経営学の教授を務め、1995年に退職しましたが、その間5年にわたり、管理学部長も務めました。

現在は弁護士事務所を運営するクリンギンスミス氏ですが、2001年から2004年にかけては、郡政委員を務めたほか、1971年からは、メーコン・アトランタ州立銀行理事を、1982年からはChariton Valley Association for Handicapped Citizens（シャ



ロサンゼルスで開催された2008年RI国際大会で演説するレイ・クリンギンスミス氏

Alyce Henson/Rotary Images

リトン・バレー障害者協会）の会長を務めています。ジュディー夫人との間には、子供が二人、孫が三人います。

1961年にロータリアンとなって以来、地区ガバナーを経て、1998年規定審議会（インド、ニューデリーで開催）ならびに2008年ロサンゼルス国際大会委員会の委員長として、RIに奉仕してきました。1985-87年度にはRI理事となり、1986-87年度には理事会執行委員会の委員長を務めました。2002年にはロータリー財団管理委員となり、2005-06年度には副委員長を務めました。また、大口寄付者でもあり、財団の功労表彰状と特別功労賞の両方を受賞しています。

2008年会長指名委員会の議長を務めたのは、米国（テキサス州）、メキシコ・ロータリー・クラブのジャック・フォレスト氏でした。

会長メッセージ

ロータリーの繁栄に向けて
多様性を歓迎しよう

Alice Hanson/Rotary Images

ロータリアン歴の長い方々は、会員としての恩恵を十分に理解しておられることでしょう。クラブ例会からは親睦を楽しむ機会が、そしてプロジェクトからは他者に奉仕することの充足感が得られます。数カ月も前からカレンダーに書き込まれているクラブと地区の行事も、会員が大いに待ち望んでいるものです。私たちにとっては、ロータリーのない人生など考えられません。ですから、会員になることを望まない人がいるなどは考えも及びませんし、なにゆえに退会する人がいるのかも測りかねるところです。

しかしながら、ロータリーが200以上の国や地域に存在し、120万人の会員を要する実に多様な組織であることを忘れてはなりません。それぞれのクラブや地区に独自の個性があるように、すべてのロータリアン、そしてすべての会員候補者にも異なる個性があります。私たちは同質グループではありませんし、また、そうあってはならないのです。ですから、素晴らしい資質を備えた会員候補者が私たちとは違う人々である場合も往々にしてあるのだと肝に銘じておかなければなりません。

その違いとは、年齢や職業を異にする人々、異なる背景を持った人々、そのクラブの大半の会員が住む地域以外に住む人々などが考えられます。このような人たちこそ、クラブ例会に招く意義があります。会員としての資格を備えてはいるものの、うちのクラブに「ふさわしい」人物ではないと思える候補者がいるとすれば、立ち止まって考え直してみるべきです。その候補者は、クラブにどのような恩恵をもたらす可能性があるでしょうか。また、クラブはその候補者をどのように迎え入れることができるでしょうか。

年々、世界の人口が増えるにつれ、ロータリーの奉仕へのニーズも増えています。「夢をかたちに」し続けていくために、私たちはロータリーの繁栄に貢献する責務を遂行して受け入れていく必要があるのです。



D. K. Lee

李東建

リンクの紹介

ロータリー財団月間を推進するための
オンライン・リソース

RIのウェブサイトを利用して、簡単に財団への寄付を行ったり、ロータリアンやロータリアン以外の人々に寄付を募ることができます。

- **寄付**: このページでは、財団への寄付方法、各基金に関する説明、簡単な方法で寄付を行うための寄付書式などが掲載されています (www.rotary.org/ja/Contribute)。

クラブと地区はこれらのリソースを使って財団の取り組みを紹介することができます。

- **公共奉仕広告「人類のために活動します」**: テレビ、ラジオ、印刷、インターネット、看板などに利用できるロータリーの公共奉仕広告「人類のために活動します」は、重要な人道的問題に取り組むロータリアンのボランティア活動に焦点を当てています。クラブと地区は、これまで、バス車両の宣伝広告から英国下院にかけられた照明付きの巨大ディスプレイまで、さまざまな広報に公共奉仕広告を活用しています (www.rotary.org/ja/MediaAndNews/Multimedia/PSAs)。

- **YouTubeのRIチャンネル**: このウェブサイトから、RIのビデオをすぐにクラブや地区のウェブサイトに盛り込むことができます (www.youtube.com/rotaryinternational)。

- **ロータリー・フォトライブラリ**: ロータリー・フォトライブラリ (Rotary Images) では、世界中の素晴らしいプロジェクトやロータリアンの様子をとらえた何千枚もの写真をダウンロードすることができます (www.rotary.org/rotaryimages)。

- **写真で見るロータリー**: 人、土地、プロジェクトの感動の瞬間を捉えた年刊CDシリーズ (www.rotary.org/rotaryinpictures)。



- **RVM:ロータリアン・ビデオ・マガジン**: ロータリー・クラブのプロジェクトやプログラムを紹介するDVDシリーズ。年に3回制作されるこのDVDには、短編ビデオが3~4話ずつ収録されています。年間予約購入が可能です (www.rotary.org/ja/MediaAndNews/Multimedia/RVMVideoMagazine)。

以下の財団関連資料をロータリーのオンライン・ダウンロード・ライブラリ (www.rotary.org/ja/AboutUs/SiteTools/DownloadLibrary) からお探しくさいます。

- **「毎年あなたも100ドルを」サクセス・ブック**: 「週例ロータリー財団考」とクラブ寄付増進年間予定表が入っています。
- **「未来の夢計画」に関するプレゼンテーション**: 財団の長期計画と今後実施予定の試験的プロジェクトについて説明するパワーポイント。
- **「ロータリー財団携帯用カード」**: 財団とそのプログラム、寄付情報に関する簡潔な統計的概要を示すパンフレット。

理事会が未来の夢
計画を採択

RI理事会は、6月の会合でロータリー財団未来の夢計画を採択し、2010年7月に3年間の試験的プログラムを開始することに合意しました。

このプランの下、財団は2種類の補助金を提供することになります。

- **地区財団活動資金 (DDF) の50%までを利用できる新地区補助金**
- **6つの重点分野 (平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展) において多大な影響をもたらす持続可能なプロジェクトを支援するためのグローバル補助金**

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。または、選ばれた重点分野を専門とする協同組織と合同でロータリー財団が立案したプロジェクトを支援するために、パッケージ化された補助金のスポンサーとなることもできます。

試験的プログラムへの参加申し込みは、すべての地区に奨励されています。財団管理委員会は、地理的要因や規模、資金管理の状況、財団への参加の度合いといった点でバランスよく代表できるグループの選抜に努めます。試験的プログラムの参加地区は、新しい補助金構成に沿って活動することになり、ポリオ・プラスと国際問題研究のロータリー・センターを除き、現行の財団プログラムを実施することはできません。

参加を希望する地区は、地区内クラブの3分の2の同意を得た上で、2月から6月までの間にオンラインで試験的プログラム参加申請書を入力する必要があります。選ばれた参加地区のリストは、2009年7月1日にRIのウェブサイトに掲載される予定です。選ばれた参加地区の2010-11年度ガバナーと財団委員長は、2010年初めに開催予定の研修会への出席が義務づけられます (費用はRIが負担)。

詳しくは、www.rotary.org/ja/aboutus/therotaryfoundation/futurevision/pages/ridefault.aspxをご覧ください。

ロータリー世界平和フェロ
シップ申請者数の制限を廃止

ロータリー財団管理委員会は、6月の会合で、各地区が毎年提出できる世界平和フェロシップ申請者数の上限を取り除くことを決定しました。地区は、資格があると思われる申請者を何人でも推薦することができます。

2010-12年度の修士号取得プログラムと2010年度の専門能力開発修了証プログラムの申請書の締切日は2009年7月1日です。地区は、必要であればRIに締切日の延長を要請できます。

詳細は、Laura Tellまでお問い合わせください (Eメール: laura.tell@rotary.org、または電話: 1-847-866-3307)。

ロータリー広報賞廃止の
お知らせ

RI理事会は、6月の会合で、2008年7月1日をもってRI広報賞を廃止することを票決しました。

広報活動の表彰に関心のあるロータリー・クラブは、代わりに会長賞の受賞対象となる活動を実施することができます。会長賞の受賞を目指すロータリー・クラブは、会員増強目標を達成し、6つの分野の活動を完遂する必要があります。6つの分野の一つには、公共奉仕広告を利用して、一般の人々にロータリーについて広めていく活動を含む社会奉仕があります。

この廃止により、「ロータリー・ワールド」7月号に掲載されたRI広報賞申請に関する情報は無効となりますので、ご了承ください。編集者より、混乱とご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

グローバルな雑誌付録が登場

11月、「ザ・ロータリアン」誌ならびに全31の公式地域雑誌に付録「グローバル・アウトLOOK」が新登場します。世界中のロータリーの読者を対象に四半期毎に挿入されるこの付録は、8ページにわたりロータリーの国際舞台での活動を特集します。国際ロータリーがロータリー・ワールド・マガジン・プレス用に発行するもので、各号ごとに1つのテーマを掘り下げて扱います。11月号はロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅を特集します。「グローバル・アウトLOOK」は、共通のビジョンの下にさまざまな国籍の人々が団結してこそ最大の力を発揮できるという、ロータリーの国際性に焦点を当てています。詳細はwww.rotary.orgをご覧ください。

カレンダー

10月
職業奉仕月間
24~25日
会長主催会員増強会議
メリダ (メキシコ)

11月
ロータリー財団月間
3~9日
世界インターアクト週間

8日
国連「ロータリー・デー」
ニューヨーク (米国)

12月
家族月間
6~7日
会長主催会員増強会議
ウィーン (オーストリア)

12~13日
会長主催会員増強会議
レスターシャー (英国)

1月
ロータリー理解推進月間
9~10日
会長主催会員増強会議
フェニックス (米国)

各種締切日

10月1日
地区ガバナーがRI広報部にPR補助金申請書を提出する締切日

11月1日
ロータリアンがポリオのない世界を目指す地域奉仕および国際奉仕賞の推薦書を提出する締切日

11月15日
ロータリアンがロータリー財団特別功労賞の推薦書を提出する締切日

11月29日
ロータリアンが2009年RI国際大会の分科会提案書を提出する締切日

12月5日
団体参加者が、2009年RI国際大会のRI公式代理店であるパーミンガム・コンベンション・ビューローに宿泊に関する前払い金を全額納める締切日

12月15日
登録者が、2009年RI国際大会および大会前行事 (ロータリー世界平和シンポジウムとロータリー学友の祝賀行事を含む) について登録料の大幅な割引を受けられる締切日。4月の会合で管理委員会に検討してもらうためのマッチング・グラント (米貨25,000~150,000ドル) の申請締切日

12月31日
RIが2010年規定審議会の立法案を受理する締切日

1月1日
クラブ会員に関する第2回半期報告書の締切日



Courtesy Warwick Castle

英国バーミンガムで開催される2009年RI国際大会で、ロータリアンとそのゲストは、「中世探索の夕べ：ウォリック城見学」とバーミンガムの国立屋内競技場で行われる「コンサート・オブ・コンサーツ」をお楽しみいただけます。

国際大会早期登録で割引料金を

6月21日～24日に英国バーミンガムで開催が予定されているRI国際大会期間中、世界で最も保存状態の良い中世の城が特別に8千名のロータリアンとそのゲストに公開されます。

この中世探索の夕べ：ウォリック城見学とバーミンガムの国立屋内競技場で行われる「コンサート・オブ・コンサーツ」のチケットをセットで、12月15日までに予約すると、10ポンドの割引を受けることができます。

また、ロータリー100回目の国際大会に12月15日までに登録したロータリアンは、特別割引料金をご利用いただけます。

西暦914年に建てられたウォリック城、その堂々とした砦、目を引く城の隅々の様子は、まさしく壮大であり、また、城内には幽霊が住むといわれています。ロータリアンとそのゲスト限定の特別な夕べでは、地下牢と拷問部屋のツアー、輝く甲とかぶ



とに身をまとった騎士によるトーナメント方式の中世競技はじめ、鷹狩りやアーチェリー演技披露、中世の城攻めに使われた世界最大の平衡錘投石機、「トレバシュット」の発砲などを見学します。

コンサートでは、世界でも有名なバーミンガム市交響楽団がクラシック定番曲を演奏します。世界でも一流のクラシック音楽歌手として知られるメゾソプラノ歌手キャサリン・ジェンキンスも登場し、その歌声を響かせます。

この他に、開会パレード、10キロ・ミニマラソン、毎年人気のホスト・ホスピタリティの夕べ、バーミンガム・ロイヤル・バレエ、トレオーキー男声合唱団コンサート、イースト・ミーツ・ウェスト・バラエティショー3つの文化イベントを取り入れたバーミンガムの夜など、ホスト組織委員会は盛りだくさんな行事を企画し、皆さまをお待ちしています。

www.rotaryconvention2009.comでご登録ください。

クラブ相談室

クラブ会長として、クラブの財務の健全性をどのように保てばよいでしょうか。

ロータリー・クラブに入る資金は、会費や募金活動で得た資金、寄付金など、どれを取ってもロータリアンやロータリーの支援者から寄せられたものです。1円にいたるまで責任を持って管理し、クラブ理事会や会員をはじめ、誰でも財務記録を閲覧できるようにしておかなければなりません。以下のベストプラクティス（最善の実践例）を参考に、会計と協力しながら、クラブ財務の健全性を守りましょう。

- 年次予算では運営費と慈善資金を分け、それぞれ別の銀行口座を設ける
- クラブの銀行取引明細と財務記録を審査する担当者を2名以上とする
- 責任問題（賠償責任等）が生じる可能性のある活動をあらかじめ特定し、リスクを最小限に抑える。必要に応じて、法律顧問に相談する
- 国や地元自治体の税法や財務報告要件を順守する。必要に応じて、地元の専門家に相談する
- ロータリー財団の補助金は、すべて承認された通りに使用し、財団に適切な報告書を提出する

財務管理に関する詳細は「クラブ会長要覧」(222)またはクラブ会計用の資料をご覧ください。2009年11月に「クラブ役員キット」(225)に新たに加わる「クラブ会計要覧」もご参照ください。出版物はウェブサイト (www.rotary.org) から無料でダウンロードできるほか、「クラブ役員キット」は shop.rotary.org から10米ドルでご購入いただけます。

RI理事会および財団管理委員会の役員が決定

RI理事会は、2008-09ロータリー年度の第一回会合で、李東建会長が選んだRI役員を承認しました。

- 副会長：モンティ J. オーデナート
レッドディア・イースト・ロータリー・クラブ
カナダ、アルバータ州
- 財務長：ベルナルド L. ローゼン
ブリュッセル・ロータリー・クラブ
ベルギー、ブラバント
- 執行委員会委員長：
ポール A. ネット
ロサンゼルス・ロータリー・クラブ
米国、カリフォルニア州

ロータリー財団管理委員会は、以下の役員を選出しました。

- 管理委員長：
ジョナサン B. マジアア
カノ・ロータリー・クラブ
ナイジェリア、カノ州
- 管理委員長エレクト：
グレン E. エステス・シニア
シェイズ・バレー・ロータリー・クラブ
米国、アラバマ州
- 副管理委員長：ロン D. バートン
ノーマン・ロータリー・クラブ
米国、オクラホマ州

その他のお知らせ

10月、クラブ役員報告書式がクラブに送付されます。クラブ幹事は、2009-10年公式名簿に確実に掲載されるよう、役員選出から2週間以内（遅くとも12月31日まで）に本書式を返送する必要があります。

10月、2008-09年度第1四半期に入会したクラブ会員宛に、李東建RI会長からの歓迎書簡と情報資料が送られます。すべての新会員はロータリー・クラブに入会して間もなくこの書簡を受け取るようになります。

ロータリー・センター委員会は、2009-11年度ロータリー世界平和フェローを選出するため、10月13～17日まで、米国イリノイ州エバンストンで会合を開きます。

10月下旬までに、地区ガバナーは地区とクラブの7月1日現在の開始時の会員数を受け取り、これを参照資料として保管しておく必要があります。ガバナーは地区とクラブの会員に関する情報をウェブサイト (www.rotary.org) の「会員アクセス」から入手することもできます。

インターアクト・クラブを提唱するクラブは、11月3日～9日の世界インターアクト週間を祝って活動を企画してください。

11月8日、ニューヨークの国連本部にて、ロータリー国連デーが行われます。この年次行事は、国連とロータリーが人道的活動を支援し、世界理解と平和を推進

する様子について、ロータリアンとその家族や友人が学ぶ機会となります。詳細は、ニューヨークのRI代表者、Brad Jenkins (ブラッド・ジェンキンス) 氏まで、電話 (1-908-766-4790) もしくはEメール (bradjenkins@att.net) でご連絡ください。

12月、地区奨学金小委員会委員長ならびに地区フェローシップ小委員会委員長から、2010-11年度ロータリー財団国際親善奨学金および大学教員のためのロータリー補助金、2010-12年度ロータリー世界平和フェローシップの申請書が入手可能となります。

10月1日の締切日までに2009-10年度研究グループ交換 (GSE) の申請書を提出した地区ガバナー・エレクトは、12月までに順次、GSE組み合わせの確認を受け取ります。組み合わせられた地区ガバナー同士は連絡を取り合い、確認通知に添付された「GSE旅行情報書式」に記入する必要があります。同書式は、2009年国際協議会登録封筒にも同封されており、1月1日までに財団で受理されなければなりません。質問はEメール (gse@rotary.org) にてお問い合わせください。

PR補助金申請に関する決定は、12月31日までに地区ガバナーへEメールで連絡されます。

1月より、地区平和フェローシップ小委員会委員長は参加者の募集を開始し、クラブと地区レベルで面接を開始すべきです。

事務総長の覚書

テクノロジーを駆使し 効率を上げる

テクノロジーのおかげで、事務局のコミュニケーション能力が増大し、その結果、世界中のクラブ会員に対するサービスも大幅に向上しました。ロータリーは会費に支えられている組織ですから、私たちはテクノロジーを利用して効果的かつ低コストで支援を提供することを目指しています。これを達成するため、これまでのカスタマイズドのアプリケーションと異種システムから共通のプラットフォームからなる標準的なモデルへと移行することになりました。



例えば、私たちの優先事項のトップには、会員データの統合を図る成員管理プロジェクトがあります。現在のところ、データベースは、学友、寄付者、大会参加者というように別々になっています。それを、このプロジェクトではまず、総合的な視野に立ってクラブ会員を見つめることができるよう、個々のデータベースを統合します。次に、会員自身が個人情報を閲覧・更新できるいわばセルフサービスの機能の開発を進めます。そしてゆくゆくは、クラブ会長がオンラインでクラブのデータを自由に駆使できるようにするのが目的です。

このプロジェクトからどのような恩恵が得られるのかとお考えの向きもあることでしょう。その答えは、低コストとサービスの充実です。技術的なプラットフォームの数を減らすことによって、能率が上がる代わりにコストが下がり、さらにはクラブ会員についての知識が増えれば、事務局はクラブのニーズに合わせてサービスを提供できるようにもなります。

テクノロジーは、ロータリーの将来にとって重要な役割を担っています。このことを踏まえ、私たちは会員に最高の支援を提供するため、常に適切な技術を備えておこうと努めています。

Ed Futaba
エド・フタ (布田)

ROTARYWORLD

ロータリー・クラブの世界的連合体である国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することである。

ロータリー・ワールドは9カ国語で年に4回、7月、10月、1月、4月に発行。

発行者：国際ロータリー、
One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue,
Evanston, Illinois 60201-3698, U.S.A.

ウェブサイト：www.rotary.org

ファックス：1-847-866-9732；電話：1-847-866-3000

Eメール：data@rotary.org

購読料：年間5米ドル

住所変更は、古い住所ラベルに新住所、郵便番号、クラブ名を明記して返送、または、変更をEメール (data@rotary.org) で返信してください。

ロータリー・ワールドで紹介できるクラブや地区の奉仕プロジェクトに関する記事のアイデアをお寄せください。プロジェクトの内容、高画質のカラー写真、連絡先を添えてEメール (rotary.world@rotary.org) でお送りください。多くの方々から記事をお寄せいただくため、プロジェクトが掲載されるとは限りませんのであらかじめご了承ください。

本号はロータリー・ワールドの2008年10月号、第15巻、第2号 (ISSN 1079-7718) です。著作権 © 2008年国際ロータリー。

ロータリー刊行物とウェブサイトの編集者は自由に記事を再掲することができます。

編集責任者：Janis Young

編集主任：Jennifer Lee Atkin

グラフィックデザイナー：Karen Castens

翻訳：国際ロータリー日本語課

コピーエディター：Beth Duncan

校正：Kelly Doherty

本号編集関係者：Abby Breistein, Janice Chambers, Joseph Derr, Ryan Hyland, Susie Ma, Dan Nixon, Sarah Remijan, Peter Schmidtke, Diana Schoberg, Antoinette Tuscano, Maureen Vaught

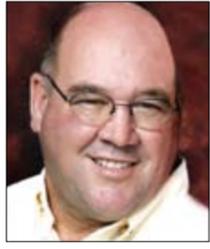
国際ロータリー、2009年RI国際大会ロゴ、「夢をかたちに」ロゴは、国際ロータリーの登録商標および知的所有物です。無断複製・転載は禁じられています。

ハイチの食糧危機に迅速に対応するロータリアン

今年はじめ、世界的な食糧危機が波及する中、バハマの地区ガバナーが、2007年国際協議会で出会った人々に連絡を取り、カリブ海近隣諸国への援助を求めました。

人口増加、需要上昇、気候変動などさまざまな要素が絡み合って食糧価格が急騰したため、何百万人もが飢餓状態となり、発展途上国全体が憤激する事態となりました。ほとんどの人が1日あたり2米ドル未満の収入で暮らしているハイチで、4月中旬、6人の死亡者を出す暴動が起こり、同国首相が解任となりました。

このニュースを聞き、第7020地区のディック・マクコンベ2007-08年度地区ガバナーは、協議会で出会った他地区の同期ガバ



ディック・マクコンベ元地区ガバナー

急対策チームを結成し、ガバナー補佐、ハイチ支援タスクフォース、元地区ガバナー、地区災害救援委員長の指揮の下に活動するおよそ300人のロータリアン、ハイチの計15の全ロータリー・クラブの協力を得ることができました」とマクコンベ地区ガバナー。

ロータリアンにより供給、包装された28万5千食分の食糧が、4月下旬までに配送されました。さらに6月までに140万食分の食糧物資を届ける目標で、配送が続けられました。

国内の食糧生産量が低く、輸入食糧に大きく依存しているこの国のために、ロータリアンは、短期間だけではなく、長期的な解決策に目を向けています。「世界経済と日用品価格の上昇から、現在の状況は悪化するばかりです。ですから国内全体でのマイクロクレジット（小口融資）活動などを通じて、維持可能な農業計画を進めることにしました」とマクコンベ氏は説明しています。

ロータリー財団から援助を得る計画を進行させる一方、ロータリー・クラブは「Hope for Haiti」や「Lifeline Christian Mission」のような慈善団体と協力関係を結んでいます。またマクコンベ氏は、ロサンゼルスで開催された2008年RI国際大会でもいろいろなプロジェクトのアイデアを得ることができたと話しています。

「1週間以内で、ハイチ緊急対策チームを結成し、ハイチの計15の全ロータリー・クラブの協力を得ることができました」

ディック・マクコンベ

ナーに連絡を取りました。カリブ海諸島、ガイアナ、スリナム、米国一部を担当する第33と第34ゾーンのガバナーが、それぞれの地区内クラブに協力を呼びかけ、緊急食糧危機のために3万米ドルの義援金を送りました。さらに、カリブ海諸島で10の国と地域を囲む第7020地区は3万2千米ドルの資金を集めました。

マクコンベ地区ガバナーは、また、災害救援経験を持つほかのロータリアンにも連絡を取りました。「1週間以内で、ハイチ緊

10月は職業奉仕月間

生徒にテクノロジーの扉を開いたフランスのクラブ

先見の明あるカルモア・ロータリー・クラブは、フランス、タルン北部周辺で、財政の厳しい中学校のためのコンピューターの寄贈を募る活動を中心に行っています。この活動により、学校の生徒たちに急速に変化する最新テクノロジーに触れる機会が与えられています。

アンドラとフランスにまたがる第1700地区の支援を受けたクラブ会員のジャッキー・カタラさんは、数年間にわたって、ルーマニアで教材や設備が不十分な中、フランス語を教える学校にコンピューターを寄贈していました。カタラさんの活動の成功がメディアで報道されると、タルン北部の学校関係者から、機器寄贈の要請が殺到しました。そこでクラブが発足させたのが「Better Computer Learning Conditions in Schools」という職業プロジェクトです。

「ロータリーのおかげで、生徒たちは学校で力を伸ばす機会に恵まれました」ブルノー・デルヴァルリ

「学校訪問をし、特に地方の学校を見ると、コンピューター・テクノロジーがほぼ皆無であることがわかりました」とカタラさんは話します。生徒たちが恵まれない学習環境にあることを知ったカタラさんのクラブは改善に乗り出しました。

カタラさんをはじめとするクラブ会員は、古いコンピューター機器の寄贈に応じるフランスのさまざまな組織とのネットワーク作りに膨大な時間を捧げたほか、システムが適切に作動し、最新のものとなるよう、情報テクノロジーの専門家とも協力しました。

2006年12月にプロジェクトが発足して以来、コンピューター180台とプリンター24台を40校に寄贈することができました。

ほかのクラブも簡単に同様の活動を実施でき、また活動はロータリーの公共イメージの向上につながる、と第1700地区のアンドレ・マーティエ2007-08年度ガバナーは言います。「こうした活動によって初めて、クラブは、ロータリーがこれまで気づかなかった恵まれない人々とかかわることができるのです」

プロジェクトの成功は、目に見える絶大な成果をもたらしました。「コンピューターは今では教育に欠かせないツールとなっています。この新しいスキルの習得は、生徒たちが卒業してから必要不可欠なものとなります」と話すのはフランス教育省で学校検査官主任を務めるブルノー・デルヴァルリさんです。「ロータリーのおかげで、生徒たちは学校で力を伸ばす機会に恵まれました」

引用に値する言葉

「私は、世界保健機関(WHO)の持てる限りのリソースを駆使し、全力でポリオ撲滅の完遂に臨む所存です。... ポリオの撲滅を非常事態とは言わないまでも、最も緊急を要する問題としてWHOの最優先活動とします」

— マーガレット・チャン博士世界保健機関事務局長
2008年RIロサンゼルス国際大会にて

数字で知るロータリー

1,231,483 世界のロータリアン数 | 534 ロータリー地区数
32,270 ロータリー・クラブ数
7,396 ローターアクト・クラブ数 | 170,108 ローターアクト会員数
11,605 インターアクト・クラブ数 | 266,915 インターアクト会員数
6,357 ロータリー地域社会共同隊(RCC)数 | 146,211 RCCメンバー数
2008年7月1日現在。

障害のある子供たちに野球を：夢の球場にロータリーが貢献

夏の日差しがまぶしい午後、4人息子のうち3人がプレーする野球を応援するのは、レスリー・ドレイさんにとってごくありふれたことでした。そしてその隣にはいつも、自閉症の息子、チャド君が座っていました。

「『特別なチームができればそこでプレーできるわよ』って言い聞かせていたんです」とドレイさんは振り返ります。

2007年米国フロリダ州のウエスト・ジャクソンビル・ロータリー・クラブが、ゴム入りアスファルトを敷いたミラクル・リーグ球場を完成させたのを機に、チャド君がユニフォームを着る日がやってきました。

クラブは、完成までに、寄贈物資を含めて20万米ドル集め、第6970地区から2千米ドルの地区補助金を受け取りました。球場はロータリーであった故ルイス B. ブラントレー氏にちなんで名づけられ、ブラントレー氏の配偶者、キャサリン・ブラントレーさんは8万6千米ドルを寄付しました。

ジョージア州のミラクル・リーグ協会からの助言も受けました。この協会はロータリーと多くのつながりがあります。協会の会長を務めるデイン・アルフォード氏は、ジョージア州ロックデール・カウンティ・ロータリー・クラブの元会長です。同クラブが近隣のコンヤーズ・ロータリー・クラブと協力し、初めてのミラクル・リーグ球場をつくったのは2000年のことでした。現在ではフロリダ州に17、全米に125の球場があります。

16歳になったチャド・ドレイ君は、ジャクソンビルのミラクル・リーグに2シーズン参加しました。このリーグの選手27人全員が身体的または知的な障害を抱え、従来の野球チームには参加できません。ボランティア支援者の助けを借りて、一人ひとりが各回にベースを回り、「アウト」になる人はいません。ゴム入りアスファルトの球場では、小児麻痺のため車椅子に乗るコービン・グレスマン君(11)も野球に参加する一人です。

球場の建設にあたり、ウエスト・ジャクソンビル・クラブの活動を率いたクレイグ・ハートウィグ氏は、次のように語りました。「普通の球場とは全く違います。歩行器や車椅子など何でも走らせることができるのですから」



米国フロリダ州ジャクソンビルでミラクル・リーグ球場の実現に身を捧げたロータリアン、クレイグ・ハートウィグ氏と喜び合うチャド・ドレイ君

ウェブサイトで
詳細はこちらから
www.miracleleague.com

会員増強とロータリーの認識向上を目指して行脚の旅へ

ロータリー推進を目指して5千人以上のロータリアンとともに韓国の慶尚北道を徒歩で縦断した後、靴下を脱いで足にできた水ぶくれを見せたことは、地区ガバナーである白廣欽氏にとって自慢できる経験とは言いがたいものでした。しかし、大成功を取めたこの活動によって、新しいクラブ会員が増え、募金が集まり、ロータリーが大きく新聞で取り上げられることになりました。

2007年7月から12月までの毎週末、第3630地区のロータリアンがこの地方をリレー式に行脚しました。同地区の2007-08年度ガバナーである白氏は、全行程598キロメートルを踏破したわずか11人のロータリアンの一人です。忙しい時間を割いて参加した人々は、行く先々の地域社会のニーズに応じて、無料で医療を提供したり、献血運動や奨学金のための募金活動を実施したほか、自ら献金も行いました。この行脚の旅で718,000米ドルの収益がもたらされ、458人の新クラブ会員が入会しました（白氏によると、就任中の2007-08年度、106のクラブと6,018人のロータリアンを擁する韓国最大の第3630地区では700人の新会員が入会したといえます）。

ロータリーの推進を目的としたこの画期的なアプローチは、白氏の発案によるものです。第一

の目標はロータリーへの認識を高め、会員を増やすことでしたが、白氏の中にはロータリアンを「超我的奉仕」へと駆り立てたいという願いもありました。この行脚は地元紙や全国紙をはじめ、ラジオやテレビでも取り上げられました。

このイベントを盛り上げることが一番の苦勞だったと白氏は振り返ります。当初は、プロジェクトの大きさにクラブ会員たちがしり込みしたため、元地区ガバナーからの力を借りて、何とかこの一大活動にロータリアンを結集させたのです。結果的に、この活動には大勢の人々から絶大な支援が寄せられることになりました。

「行脚を始めたのは猛暑が続く真夏でした。雨が降ろうと太陽が照りつけようと、私たちは歩き続け、ロータリアンたちから熱烈な歓迎を受けました。この熱意が我々第3630地区の大きな励みとなりましたと白氏は語ります。

「雨が降ろうと太陽が照りつけようと、私たちは歩き続け、ロータリアンたちから熱烈な歓迎を受けました」
白廣欽



ロータリー推進のために韓国で5千人のロータリアンを率いて598キロメートルを歩いた2007-08年度の第3630地区ガバナー、白廣欽氏。この行進で718,000米ドルが集まり、458人の新クラブ会員が入会しました。



Photo courtesy of Mark Pearson/ShelterBox

ロータリアンの援助を受け、ミャンマーのサイクロン被災者へのシェルターボックスによる緊急支援が可能に

5月、ミャンマーのデルタ地帯を直撃したサイクロン「ナルギス」被災者に手を差し伸べた最初の慈善団体のひとつがシェルターボックスでした。一刻を争う援助が必要とされているにもかかわらず、多くの国際団体が軍事政権により入国許可の足止めされるという状態が続いている中、救援活動の経験豊富なボランティアチームが1,050個のシェルターボックスを配るために被災地入りしました。シェルターボックスのチームは、現地の諸団体と協力して、交通手段を確保し、広範にわたる被災地において一時的な援助を最も必要としている場所を決定しました。シェルターボックスは、英国コーンウォールのヘルストン・リザード・ロータリー・クラブのトム・ヘンダーソン氏により創設され、現在、数カ国のロータリー・クラブによって支援されています。

専門家に聞く

ロータリー・クラブは、子供の死亡率低下という李東建RI会長の強調事項をどのように支援することができるでしょうか。

この問いに、子供の死亡率低下強調チームのバリー・ラシン・シニア・コーディネーターが答えてくれました。



李東建RI会長は、今年度、子供、特に5歳未満の子供の死亡率を減らす奉仕プロジェクトを少なくとも一つ実施するようすべてのロータリー・クラブに呼びかけています。これはあまりに大仕事だと最初はしり込みしてしまうクラブも少なくないかもしれませんが、保健および飢餓救済、識字率向上、水対策の各支援グループが、クラブを援助すべく控えています。各グループは、それぞれの専門分野における知識と経験に基づき、子供の死亡率の低下を目指す会長の呼びかけにクラブが応えられるようなプロジェクトのリストを作成しています。ここにいくつかの案をご紹介します。

- 水：子供は安全な飲み水だけでなく、衛生面における改善のためにもきれいな水を必要としています。遠隔地に安全な水をもたらすために井戸を掘削したり、手を洗うことを奨励するプログラムを実施したりすることは、子供の死亡率の低下につながります。
 - 保健および飢餓救済：慢性的な栄養失調や空腹状態は、健康に長期的な支障をきたします。疾病や事故から身を守ることも大切です。蚊帳の提供でマラリアが予防でき、新生児用のカーシートを発展途上国の親に提供することで子供の命が救えます。
 - 識字率向上：妊婦や出産したばかりの母親は、出産前後のケアに関する正しい知識を得るために読み書きの能力が必要です。母親になりたての女性に、子供に読み聞かせる方法を教えることが、家庭と地域社会の中で識字の連鎖を広めていくことにつながります。
- 子供の死亡率の低下につながるプロジェクトやプログラムに焦点を当てれば、ロータリー・クラブは世界中の子供たちの「夢をかたちに」することができます。支援グループの連絡先情報とプロジェクトの案の詳細は、RIウェブサイト (www.rotary.org/president) の会長のページをご覧ください。
- また、マラリアに関する情報と蚊を減らすプロジェクトの例は、第6ページをご覧ください。

GSEが英国ブラッドフォードに生活教育をもたらすきっかけに

ロータリーでの経験が、どのようなかたちで次の偉大なプロジェクトのアイデアへとつながっていくかは計り知れません。1987年、研究グループ交換 (GSE) でオーストラリア、ニューサウスウェールズ州にやって来た第1040地区 (英国) の参加者が、生活教育センターの授業を参観しました。薬物乱用防止について教えながら、子供たちを授業に熱中させている教育者に感銘を受けた英国の参加者たちは、このプログラムをぜひともヨークシャー州に導入しようと決意しました。

ウェスト・ヨークシャー州のブラッドフォード・ロータリー・クラブの会員で、GSEチームリーダーを務めたデイビッド・ボラード氏が募金活動を主導し、ディック・ヘイズルハースト次期クラブ会長に活動の実施を説得しました。薬剤師のヘイズルハースト氏には6歳の子供があり、もともと薬物乱用防止に関心を持っていたこともあって、子供を危険から守る生活教育を1988-89年度の焦点とすることに決めました。

ブラッドフォードにこの生活教育プログラムを導入しようと、クラブ会員は、市の関係者に働きかけました。「子供たちのための生活教育が、ブラッドフォードの人々から求められるようになればと願ってのことでした」とヘイズルハースト氏は説明します。

難関だったのは、教育者や薬物防止活動に携わる

人々に、生活教育は脅威ではなく手段なのだと言説することでした。同時にヘイズルハースト氏は、「これまでかかわることのなかったさまざまな人々や団体と交流できたのが大きな収穫でした。人脈づくりは、ロータリーの優れた長所の1つです」とも話します。

1990年に開校したブラッドフォードの最初の生活教育移動教室では、初年度に1万2千人の子供たちが授業を受けました。今日、ブラッドフォードでは5つの移動教室が運営され、4歳から11歳の子供たちを対象に市内のほぼすべての学校で導入されています。さらにこのプログラムは、薬物使用や飲酒、喫煙の防止についての指導にとどまらず、健康的な食生活と運動習慣を子供たちに教育するカリキュラムを持つまでに発展しました。

一つの素晴らしい発想が、次々に新たなアイデアを生んでいきます。

ウェブサイトで

生活教育センターに関する情報 (英語)
www.lifeducation.org.uk
www.lifeducation.org.au



ブラッドフォード・ロータリー・クラブ会長就任時に生活教育センターの移動教室を地元を導入するきっかけをつかった仕掛け人、ディック・ヘイズルハースト氏 (現在は、キースリー・ロータリー・クラブの会員)。

インドの財団寄付が急増

大規模な地域社会開発プロジェクトからポリオ撲滅まで、インドのロータリアンは、ロータリー財団への財政支援を通じて広範囲にわたり、人々の生活改善に貢献しています。

インドは、過去3年間で、国別の財団寄付額の順位を世界9位から4位までに伸ばしました。この功績の裏には、アーチ C. クランフ・ソサエティの創立会員である、マハラシュトラ、ボンベイ・メトロポリタン・ロータリー・クラブ所属のハーシャド R. メータ氏とナイナ夫人の貢献があります。財団創設者にちなんで名づけられた同ソサエティは、25万米ドル以上を寄付した大口寄付者を称えるものです。2006年、メータ夫妻は、100万米ドルを財団に寄付し、画期的な功績を残すインド初の大口寄付者となりました。また、夫妻は、2007年12月、ロータリーの100億ドルチャレンジに対し今後3年間で200億ドル以上を寄付することを誓約しました。

世界ポリオ撲滅を完遂すべく、「最終目標の達成を目前にし、さらに気を引き締め

て臨まなければなりません」とハーシャド R. メータ氏は述べています。

同じくインドのラジャシュレー・ビルラ氏は、国際親善奨学金基金を創設、また、年次プログラム基金を支援するため、30万米ドルの寄付を行いました。また、4月にRI世界本部で行われたアーチ C. クランフ・ソサエティへの入会式で、ビルラ氏は、ロータリーの100億ドルのチャレンジに対しさらに100万米ドルを寄付するという発表で出席者を驚かせました。

ボンベイ・ロータリー・クラブとムルンド・ロータリー・クラブの名誉会員であるビルラ氏は、ロータリーとその奉仕への熱意に強く共感しています。亡き夫が設立した家業、アディチャ・ビルラ・グループは、「株主」「従業員」「地域社会」に対する説明責任を信条としています。

「ロータリアンが象徴する寄付と世話の文化は、当社グループの哲学と著しく類似するものがあります」とビルラ氏。

ビルラ氏は、5月、世界最大の鉄鋼メーカー、アルセロール・ミッタルを率いる優



ラジャシュレー・ビルラ氏



ハーシャド R. メータ氏とナイナ夫人



ラクシュミー・ミッタル氏とウシャ夫人

た実業家、ラクシュミー・ミッタル氏の配偶者、ウシャ・ミッタル夫人と会って、ポリオ撲滅について説明しました。ビルラ氏の激励が実を結び、ミッタル夫人は、寛大な反応でロータリーの1億ドルのチャレンジに対する100万米ドルの寄付を約束してくれました。

「この寄付が特別だったのは、ひとつの事で（ミッタル夫人が）答えてくれたその金額のみならず、インドのポリオ予防接種キャンペーンへの参加を希望されたからです」とラジェンドラ K. サブーRI元会長は語ります。

マラリアを予防する蚊帳プロジェクト

就寝時に、虫除け加工のされた蚊帳を使うだけで、マラリアの感染を防ぐことができます。蚊帳は5年間使用でき、1枚約10米ドルで手に入れることができます。しかし、家族で1日に1ドルに満たない生活を送る人々にとっては大変高価な品です。ロータリアンはこうした人々に手を差し伸べるべく、活動を続けています。

2004年、ノルウェーのクラーケレー・ロータリー・クラブは、ケニアのマチャコス・ロータリー・クラブと力を合わせ、マッチング・グラントを確保しました。両クラブはこの資金を使って3千の蚊帳を購入し、マチャコスとその周辺のスラム街に住む5歳未満の子供たちと妊婦に配布しました。プロジェクトの成功を受けて、クラブは2008年に2回目のマッチング・グラント・プロジェクトに取り組み、5千の蚊帳を配布する予定です。また続く3回目のプロジェクトも計画しています。

「ここでは、風邪をひくと同じ感覚で人々がマラリアに感染しています」
エド・グロース

マラリア感染予防は、大規模な地域社会開発プロジェクトに組み込まれることがよくあります。カナダ、アルバータ州のレッドディア・サンライズ・ロータリー・クラブは、ウガンダのイガンガ・ロータリー・クラブとともにマッチング・グラントに取り組みました。プロジェクトでは、雨水貯水タンク、家畜、農業研修を提供したほか、ウガンダ、ブンタバの村人全員に十分な1,400の蚊帳を用意しました。

「ここでは、風邪をひくと同じ感覚で人々がマラリアに感染しています」と話すのは、レッドディア・サンライズ・クラブのエド・グロースさんです。「あまりにその頻度が高いので、当然のことのように受入れられています」

カナダ、アルバータ州のレイモンド・ロータリー・クラブも、複数のニーズに対応する活動を行いました。2007年、ボランティア奉仕活動補助金を授与されたステイブン・リービット元クラブ会長とパット夫人は、ウガンダ、カンパラ近くのブシェニ県の村を訪れ、蚊帳を配布し、農業関連の支援を提供しました。メンゴ・ロータリー・クラブの会員が地元で探した医師も活動に加わり、虫除け加工済みの蚊帳150枚を村の32世帯に配布しました。各家庭で少なくとも毎月、感染が見られたとパット夫人は言います。中には初めて蚊帳を見るという人もいたほどです。6カ月後、検診で村を訪れた医師から報告のEメールが届きました。蚊帳を使い始めてから、新しいマラリア感染は見られないとのことでした。

「これほど影響を与えられたなんて信じられません」とパット夫人は喜びいっぱいに語ります。



カナダのロータリアン、エド・グロースさんの娘、エミリーさん。2004年にロータリーのプロジェクトで両親とともにウガンダを訪れ、現地の子供たちと仲良くなりました。この滞在に刺激され、グロースさんのクラブは、マッチング・グラント・プロジェクトを計画しています。

数字で知るロータリー

マラリアについて知ろう

- マラリアが原因で30秒ごとに子供が一人死亡
- 毎年100万人以上がマラリアで死亡、そのうちの大半は新生児、幼児、妊婦
- 世界人口の約40パーセントがマラリア感染の脅威にさらされている
- マラリアは予防も治療も可能
- 感染率の非常に高い国では、マラリアが原因で年間経済成長率が平均1.3パーセント低下
- 毎年、5億人以上がマラリアにかかり重体となっている。感染者と死者のほとんどは、サハラ砂漠以南のアフリカ、アジア、ラテンアメリカ、中東にみられるが、ヨーロッパの一部でも同じ問題がみられる

出典：世界保健機関



Monika Lee/Rotary Images

12月は家族月間

父娘チームが平和づくりに貢献

昨年、米国ユタ州ソルトレークシティで開催されたロータリー世界平和シンポジウムに出席したブライアン・ファーさんは、感動的な講演の中でも、とりわけロータリー世界平和フェローである娘のジャナさんが祈りの言葉を発表するのを楽しみにしていました。

しかし、講演を聞いてあまりに深い感銘を受けた結果、自らが平和研究プログラムに参加することになるなどとは思ってもみませんでした。去る4月、ユタ州の司法次官補であるファーさんは、タイ、バンコクのチュラロンコーン大学ロータリー・センターで3カ月間の平和および紛争解決研究プログラムを無事修了しました。



タイのチュラロンコーン大学へと出発する前に、米国ユタ州ソルトレークシティ・ロータリー・クラブの例会で、ロータリー世界平和フェローである娘のジャナさんとともに微笑むブライアン・ファーさん。二人は、同クラブの推薦を受け、平和研究を実現しました。

ファーさんの心を最も強く動かしたのは、チャールズ C. ケラー元RI会長の「先見の明に満ちた」講演でした。もっと平和的な紛争解決方法を探る必要性を訴え、「平和づくりは傍観していてできるものではない」と強調したケラー氏の言葉に感動したと言います。

平和に関して言うなら、ファーさん父娘のことをただの傍観者などと批判する人は一人もいないはずで、二人は、2002年ソルトレークシティ冬季オリンピックの前に国際親善の構築に力を貸し、同市の未来計画の一環としてのGlobal Mediation Project (世界的調停プロジェクト)を開発しました。

12月にブラッドフォード大学卒業を控えているジャナさんは次のように語ります。「面白いことに、父と私の行く道はいつもどこかでつながっているんです。私がイギリスで研究を始め、父がタイで研究を始めてからは、会話がとても豊かになって、お互いのアイデアをぶつけ合うのが楽しみになりました」

ロータリアンと過ごす時間がジャナさんにとってかけがいのない経験となったように、2007年の国際大会は父親のファーさんにとって忘れられないものとなりました。「私をチュラロンコーン大学へと導いてくれたのは、ケラー元会長の講演だけでなく、ロータリーの国際的な精神でした」とファーさん。

父娘チームは、今後、二人の知識と熱意を合わせて最も意義あるかたちで平和づくりに貢献していく方法を手探りしています。ジャナさんは「これからもロータリーとともに活動していきたいと父と話しています」と語りました。

11月はロータリー財団月間

ロータリー財団月間に向けて
今一度財団目標を確認しよう

11月のロータリー財団月間に備え、2008-09年度の財団目標を今一度確認してみましょう。

私たちの第一の目標は、ポリオ撲滅の約束を守ることです。私たちは、今、ロータリーの1億ドルのチャレンジへの募金という手段によって、ポリオのない世界を達成する絶好のチャンスを掌中にしています。このチャレンジを成功させるため、各クラブは募金行事を実施し、今後3年間、1年につき1,000ドルを調達するよう求められています。こういった行事を開催することで、ポリオ撲滅に向けてのクラブの活動やロータリーの担う重要な役割を広く知ってもらうことができるという恩恵もあります。

第二に、私たちの財団が末永く発展していけるよう、年次プログラム基金と恒久基金への支援をお願いいたします。ク

「ロータリー財団月間は、財団がこれからも末永く世界でよいことを行っている勢いであり続けられるよう、クラブと地区がどのように支援すべきかを考えるにふさわしいときです」

ジョナサン・マジアベ

ラブの2008-09年度寄付増進目標を検討し、それをどのように達成、または凌駕するかを考えていただきたいと思います。

第三の目標は、ロータリー世界平和フェローシップ・プログラムを恒久的に



2008-09年度ロータリー財団管理委員会委員長
ジョナサン B. マジアベ

確立し、世界ポリオ撲滅を支援するために、クラブと地区の財団からの資金を分かち合っ「手を貸そう」を実践するプログラム、「みんなの財団、私たちの財団」に参加することです。

第四の目標は、地域社会とメディアを通じてロータリーの公共イメージを高めることです。一般の人々にロータリーのことをわざわざでも理解してもらえれば、会員や寄付者、協力者になりたという方が増えるはずで

最後の目標として、ロータリー財団の未来の夢計画をご支援くださるよう、ロータリアンの皆さんにお願いいたします。財団の改善を目指すこの夢計画の詳細については第2ページ、またはwww.rotary.org/futurevisionをご覧ください。2010年7月に開始される試験的プロジェクトへの参加を希望する地区は、申請方法もこちらをご覧ください。

私たちの財団を強化し、推進していくために掲げられた5つの目標を、皆さんのご支援なくして達成することはできません。ロータリー財団月間は、財団がこれからも末永く世界でよいことを行っている力であり続けられるよう、クラブと地区がどのように支援すべきかを考えるにふさわしいときです。

ボランティア活動が財団への遺贈のきっかけに

ケニアのナクルにあるンガラろうあ学校の建物は、シャーリー・ミシェルさんにちなんで名づけられました。この学校の便箋には、ミシェルさんの写真が印刷されています。彼女は、生徒たちの間では「クク」（スワヒリ語でおばあちゃん）と呼ばれています。

現在、米国ユタ州のホラデイ・ロータリー・クラブの会員であるミシェルさんが、20年以上前に夫を亡くしたとき、人生は終わったかのように思われました。しかし、それとは逆に新たな人生が始まったのです。当時63歳だったミシェルさんは、友人からウェストミンスター・カレッジに通うことを勧められたのがきっかけで、ケニアを探検旅行しました。これが彼女の人生を変える体験となったのです。

滞在中、ンガラろうあ学校とかわるようになったミシェルさんは、この学校でボランティアとして働くことを申し出ました（耳の不自由な叔父を持つミシェルさんは、ずいぶん前から手話を知っていました）。ケニアには合計4度赴き、長いときには6カ月間滞在し、この学校で教え、何人かの子供たちを財政的に支援しました。

ユタ州に戻ると、ケニアでの体験について講演するようホラデイ・ロータリー・クラブから招かれ、その後クラブへの入会を勧められました。同クラブは、ンガラろうあ学校を援助するために、ミシン、本、貯水槽の購入や、公衆衛生プロジェクトを含むマッチング・グラント・プロジェクトをいくつか実施しました。



シャーリー・ミシェルさん（中央）は、夫の他界後、ケニア、ナクルのンガラろうあ学校でボランティアを務め、ロータリーとかわるようになりました。いっしょに写っているのは、教員の家族です。

「彼女のおかげで、私たち全員は、この学校のことを知るようになり、意欲が湧いてきました」と話すのは、クラブ会員のスー・バンダーフーフさんです。

ミシェルさんは、遺言によるロータリー財団寄付者推奨基金を通じて、ロータリーをこれからも支援していく決心をしました。「ほかの国の人々を助けることによって、私たちは重要なことを学びます。私が財団への遺贈を決めたのはそのためです」とミシェルさん。「私はロータリーが大好きです。ロータリーのおかげで、私の人生はこれまで以上に素晴らしいものとなりました」



ポリオ撲滅の資金調達を目指すロータリアンを助けるため、ダンドナルド・リンクスのコースを回るスコットランド、ヘレンズバラの若きゴルファーたち

ポリオ撲滅チャレンジ目指しスコットランドのロータリアンがティーオフ

ゴルフの発祥地、スコットランドの人々のゴルフに対する情熱はたいへんなものです。しかし、ロータリーが最優先するポリオ撲滅へのロータリアンの情熱もそれに勝るとも劣りません。ですからスコットランドのロータリアンがこの2つの情熱を掛け合わせたイベントを思いついたのは、至極当然の成り行きと言えるでしょう。

6月22日、第1230地区のロータリアンが、ポリオ撲滅のためのロータリーの1億ドルのチャレンジに貢献しようと、チャリティゴルフ大会を開催しました。この日は生憎の悪天候にもかかわらず、地区内に56あるクラブから170余人のロータリアンとゲストが、プロゴルフ選手権も行われるエアシアのダンドナルド・リンクス・ゴルフクラブに集まりました。参加者たちは世界記録を目指して試合に臨みましたが、午前7時半のティーオフからすでに吹き荒れていた激しい風雨は止む兆しもなく、残念ながらこの悪天候には勝てず、新記録の樹立は断念せざるを得ない結果となりました。

ゴルフの成績はさておき、募金という第一目標においては、8,000ドル調達の快挙がなされました。このほかの寄付や後援にポリオ撲滅のための地区の募金を合わせると、1億ドルのチャレンジへの同地区の寄付総額は、この時点で53,000ドルとなりました。

「みんなが望んでいる記録破りはもちろん、ロータリーがこの地球上からポリオを駆逐することです」と言うのは、ヨーロッパを担当するRI公共イメージ支援グルー

「ポリオが忘れ去られようとしているスコットランドで再びこの病に光を当てることができました」

アレックス T. プレア氏

ブ・エリア・コーディネーターのボブ・トムリンソン氏です。

またアンドリュー・ヒューズ元地区ガバナーが、「このゴルフ大会のおかげで、1億ドルのチャレンジへ大きく貢献できただけでなく、スコットランド全域でロータリーとポリオ撲滅キャンペーンについての理解も深まりました」と述べました。

このチャリティ大会は、伝説的ゴルファーで、元ポリオ患者のジャック・ニクラウスという強力な後ろ盾を得て、複数の全国紙から取材を受けるなど、メディアの注目を集めました。「ポリオが忘れ去られようとしているスコットランドで再びこの病に光を当てることができました」と言うのは、この大会の幹事役を務めたアレックス T. プレア氏です。

また、トムリンソン氏は、目的を同じくするほかの熱心なロータリアンとともにこのようなイベントを組むことで、ロータリーの新たな一面も発見できたと語ります。「ロータリーの真髄を味わえるような本当にやりがいのある行事でした」

「こつこつと」財団支援で大口寄付者に

ボブ・ギャラガーさんと夫人のメアリー・ジーンさんが1991年に初めて地区大会に出席したとき、ポール・ハリス・フェローに強い印象を受けたといいます。「寄付をしてフェローになるのは素晴らしいことだと思いましたが、自分が実際にそうするまでには時間がかかりました」とメアリー・ジーンさん。

今日、ギャラガー夫妻はマルチプル・ポール・ハリス・フェローであるばかりでなく、大口寄付者および遺贈友の会の会員となっています。ただし、夫人が言うごとく、それは一夜にして起こったことではありませんでした。毎年こつこつと財団に寄付し続けた結果、ついに大口寄付額に達したのです。

「寄付をするには「TRF-DIRECT」が一番手っ取り早い方法だと、私はいつもみんなに言っています」と、この電子送金プログラムをカナダにもたらした元地区ガバナーのボブさんは言います（このプログラムが利用できるのは米国とカナダのみ）。

ギャラガー夫妻による財団への貢献はボランティア活動（夫妻そろって全国予防接種日やガーナでの識字プロジェクトに参加）にとどまらず、ロータリー・クラブと地区を巡って寄付や援助を呼びかける講演も行っています。

「財団がどれほど世界を変えているかわかってもえれば、おのずと財団を支援することがとても重要だと感じるようになるのです」とメアリー・ジーンさんは語ります。彼女は、夫婦ともども所属するオンタリオ州、ウィンザー・ローズランド・ロータリー・クラブの会長を務めています。

ボブさんは、RI国際大会と国際協議会の舞台裏から、世界中の人々にこのメッセージを伝える手助けをしています。プロの



ロータリー財団に少しずつ寄付することで大口寄付者となったギャラガーさん夫妻のキーワードは「こつこつと着実に」。

グラフィックデザイナーという職業を生かして、2003年以来、財団の講演者が背景に使う視覚的資料を無償でデザインしてきたのです。

「彼のグラフィックデザインのおかげで、聴衆は講演の要点を明確に理解することができるのです」と、ロバート S. スコット国際ポリオ・プラス委員長は述べます。

ロータリー財団に対するギャラガー夫妻の献身は、二人が襟に付けているピンに負けぬほど、誰の目にも明らかです。「ほかの人々の意欲を刺激する意味で、大口寄付者のピンを身に付けています」とボブさん。「これを見て『彼にできるなら、私にもできる』、と思ってくれる人がいれば嬉しいですね」

財団への寄付と寄付者認証に関する詳細は、ウェブサイト（www.rotary.org）をご覧ください。